



晴天の中、第46回運動会が無事終了いたしました。大変大勢の参観者にご参加いただきましたが、保護者のみな様のご協力のおかげで滞りなく進めることができました。ありがとうございました。

挨拶でも話しましたが、一週間前に「運動会ごっこ」をしました。それから毎日楽しそうに「あと3日だねー」「明日だねー」と年少組の子どもが私の顔を見ると待ち遠しいようにして声をかけてくれていました。年少組さんは初めての運動会ですから、毎日繰り返す取組はなぜ繰り返したり、「あと少しこうしたらもっと素敵になるね」と言われたりしながら上を目指すのか理解ができなかったと思いますし、人と競争して走ったり球を投げたりも不思議なことだったかもしれませんが、今日の運動会で、こんなにたくさんの大人に見てもらうことだったんだと納得がいったかもしれません。金メダルを一番じっくりながめて嬉しそうでしたね。

年中組さんには9月の始業式の日運動会について覚えていることを聞いたら、すっかりわすれていましたが、年長の姿などを見て思い出したようでした。年少のように一人ひとりの踊りが集まって見せるのとは違い、友達との立ち位置が様々に変化する中での踊り方になるのでとても注意力が必要になりますが、素敵に隊形移動をしながら楽しんでいましたね。つなひきは、一瞬に力をこめる面白さやみんなで息を合わせていく楽しさを味わえたら十分なのではないかと思っています。

年長組さんは、係の仕事に誇りをもち、どのお子さんも胸を張って取り組めていました。また、プログラムの一つ一つが花形でした。実はコロナ過で運動不足が指摘されていて、体幹がないという状況は本園にも見られ危機感を感じていたのですが、組体操やソーラン節の踊り等を通してとても育ったと感激しています。そして、一つのことを繰り返し行ってきたことで物事への集中力が生まれ、やり遂げる満足感も味わえていたと思います。

9月からの運動会への取組や本日の取組を通して、子どもたちの宝の思い出となりますように！！